

小多機アウル通信



Small scale multifunctional in-home care
小規模多機能型居宅介護
アウル

アウルの日常



7.1 発行第 77 号



いただいたフキの皮むきをしております
2階の交流室にて八代亜紀オンラインショーの
ネット配信の鑑賞会に参加しました。
天気のいい日はベランダに出てアイスを
食べました



お菓子作り



運動レクでは玉入れ運動を行いました
投げるだけではなく足だけを使った玉入れを行いました
皆様、落とさないように慎重に玉を入れようと奮闘中！



お菓子作りではホットケーキ作りを
行いました。
皆様とても綺麗に焼かれ、上手に
ひっくり返していました



アウルの日常その2

最後の日赤看護学生の
実習を受け入れました。
運動レクやジェンガなど
楽しく交流をしました



七夕に向けて壁紙を作成中…
ちぎっては貼り、ちぎっては貼りを
繰り返し綺麗に仕上げてくださいました

『最後の日の如く今日を生きる』

いつも笑っている人は明日泣いているかもしれません。いつも元気なあの人も明日病に倒れるかもしれません

いつも隣にいる人は明日そこにいないかもしれません。

いつもそこにあった場所は明日にはないかもしれません。

明日いつも当たり前にあるものが壊れてしまうかもしれません。

明日自分は命を失うかもしれません明日大切なあの人は空に旅立つかもしれません。

明日もしかしたら本当に天変地異が起きるかもしれません。けど明日夢が叶うかもしれません。

もしかしたら明日は今までで一番幸せかもしれません。

『最後の日の如く今日を生きる』

これは、僕が30年程前に大変お世話になりとても尊敬していました江差青年会議所の方からのメッセージです。確か、鉄工所を営んでいた社長さんでした。その方は、40歳を目前にして、志半ばで亡くなられました。くも膜下出血でした。突然頭痛い言い、あっと言う間の出来事だったそうです。僕は、とてもリスペクトしていたので、相当ショックだったことを思いました。それからでしょうか、今日という日を、最後の日の如く一所懸命に生きようと思うようになりました。でも、人は、時に日頃の些細な出来事に埋もれてしまい、なんだか惰性で生きてしまっている時があります。ふとそんな自分に気づいた時、この言葉が浮かんできます。亡くなられた先輩が「最後の日の如く今日を生きなさい」「今を生きるんだよ」と、あの優しく心強く芯のある声で語りかけてくれているような気がします。皆さんは如何ですか？

感謝

ア ウ ル 宮 崎 直 人

現在予定している行事

壁紙作り…季節に合った壁紙作りをします
誕生日会…利用者様の誕生日をお祝いします